

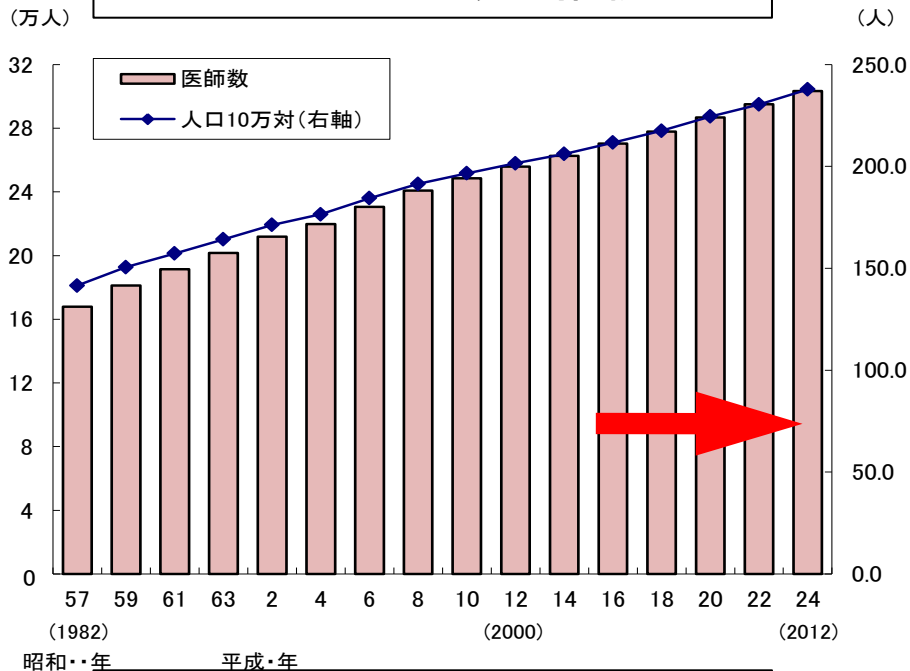
## 【事例発表①】

セミオープンシステムが周産期医療を変える  
—勤務環境改善と地域医療の標準化—

日本医科大学 多摩永山病院

副院長 中井 章人

# 全届出医師数の推移



# 平成16年研修医制度導入後

全届出医師数:

270,371名から303,268名

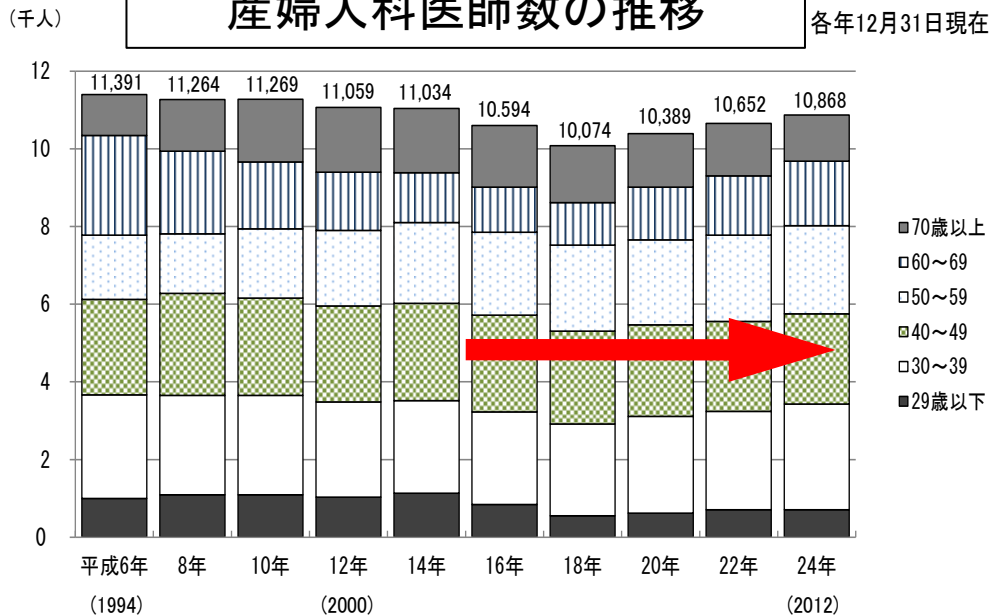
**12.1%の増加**

産婦人科、産科、婦人科:

12,156名から12,708名

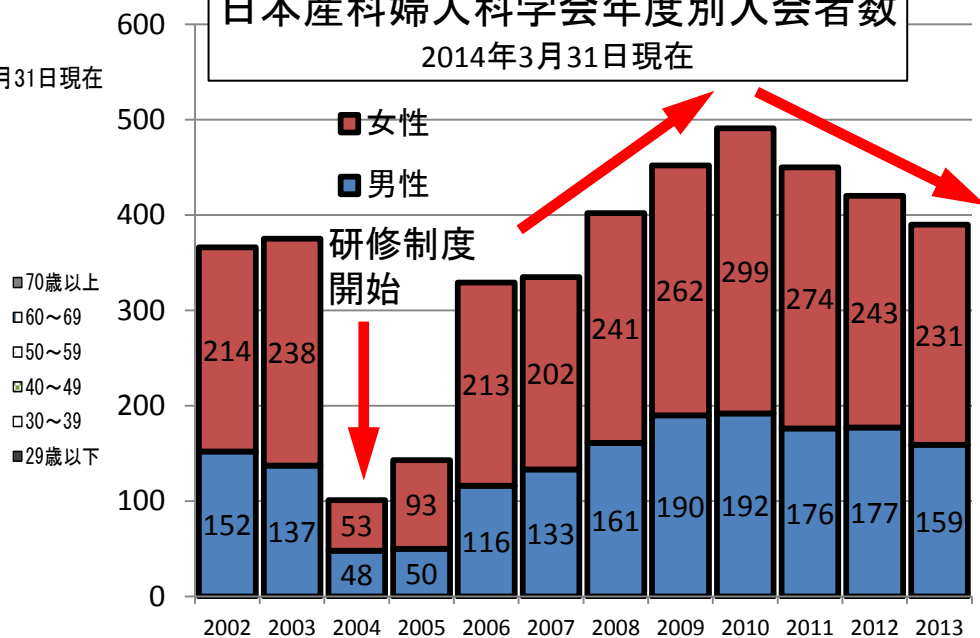
**4.5%の増加**

# 産婦人科医師数の推移

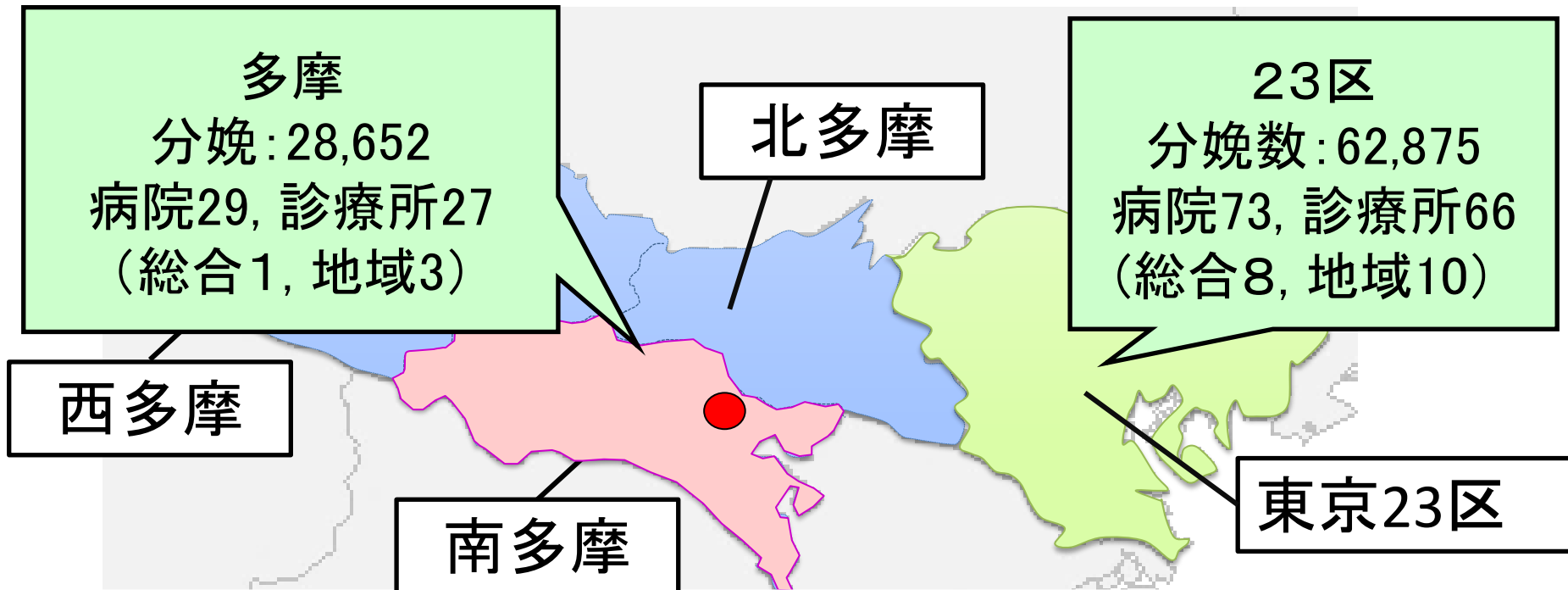


# 日本産科婦人科学会年度別入会者数

2014年3月31日現在



# 東京都内の周産期医療の実際(平成15年実績)



	多摩地域	東京区部
周産期死亡率	5.3	5.0
1000分娩あたり産科医師数	7名	15名
周産期母子医療センター	3(総合1・地域2)	18(総合8・地域10)
NICU	27床	144床
M-FICU	12床	61床

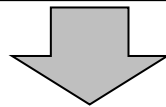
(東京産婦人科医会母子保健部調査、東京都福祉保健局人口動態統計年報)

少ない人材を生かし、最大限に効果を発揮するには？  
(日本医科大学でやったこと)

医療従事者に優しい施設こそが患者にも優しくなれる

## 大学の医師のつらいことトップ5

1. 夕方まで終わらない外来
2. 当直帯のお産と救急患者の受け入れ
3. 教授に押し付けられる学会発表と論文作成
4. 安い給料と豊富な仕事
5. 結婚相手がいない



チーム医療・助産師外来・院内助産・セミオープン実施

ただし！全てのシステムは医師を助けるためではなく、  
妊産婦管理の向上に資さなければならない！

# セミオープンシステム

基幹病院

分娩を予定する妊婦のうち、ローリスク妊婦の健診を連携施設に委託する。

連携施設

基幹病院のローリスク妊婦の健診を行なう。

## セミオープンシステムのメリット

妊婦

自宅から近く、アメニティーの良い施設で健診を行ない、緊急時や分娩時には基幹病院の診療が受けられる。

基幹病院

外来診療の負担が軽減し、より多くのハイリスク妊婦(母体搬送)受入が可能になる。

連携施設

診療の標準化が図られ、基幹病院との連携が強化され、紹介、搬送が円滑になる。外来患者数増加など経済効果がある。

# セミオープンシステム



東京南多摩地域にて2007年6月より始動



連携施設の分布(母と子のネットワークホームページより引用)

# セミオープンシステムを成功させる3つのキー

## 1. 診療内容の標準化

産婦人科診療ガイドライン

検査内容の統一

疾患ごとのクリニカルパス

基幹病院紹介のタイミング(ハイリスクの定義)

## 2. 診療情報の共有化

ネットワーク手帳

紹介状なしに患者の判断、都合で

いつでも全ての連携施設、基幹病院  
が受診できる。

## 3. 妊産婦への周知と理解

パンフレット、ホームページ

東京都周産期医療協議会からの広報

テレビ、新聞、地域機関紙(マスコミ)



# ネットワーク手帳・・・最重要キー

日本医科大学多摩永山病院

母と子のネットワーク



お名前

★ネットワーク参加施設 ( )  
診察券番号 ( )

日本医科大学多摩永山病院  
診察券番号 ( )

\*\*\*皆様へのお願い\*\*\*

①この健診手帳は、皆様の健康状態を知る大切な記録であり、診察のときには**必ずご携帯**いただく必要があります。お近くのクリニックや病院で健診をお受けになる際も、緊急時・分娩時に日本医科大学多摩永山病院を受診される際も**必ずご提示**ください。また、検査データも必ず添付しておいてください。

②分娩のために来院される場合は、まずお電話でご連絡ください。また、外来時間外に緊急受診される場合も、必ずお電話でご連絡くださいますようお願い致します。

## ネットワーク参加施設

施設名

住所

電話番号

日本医科大学多摩永山病院 女性診療科・産科

☎ 206-8512 東京都多摩市永山 1-7-1

①緊急時・分娩時

**母子センター直通 042-353-8256**

②産科外来予約（日曜・祝日・年末年始を除く午後2～4時）

（代表）042-371-2111

→女性診療科・産科外来（内線2207）

# 月経歴・妊娠歴・既往歴

氏名	
住所	
電話番号	
ご家族連絡先	
生年月日	年 月 日
年齢	歳 非妊時体重 kg
身長	cm
最終月経	年 月 日より 日間
月経周期	日 (整・不整) 今回の不妊治療 (有・無)
結婚年齢	歳 (未婚・婚約中・離婚)
<input type="checkbox"/> 分娩予約票提出済	
立ち会い分娩希望 有・無	
太枠内は各自ご記入ください。	
分娩予定日	年 月 日
	修正 無・有 ( )にて決定)
妊娠歴	( )G ( )P
既往歴・特記事項	
気管支喘息 有・無 高血圧 有・無 糖尿病 有・無 心疾患 有・無	
薬物アレルギー 有 無 食物アレルギー 有・無	
飲酒 有・無	
その他	

# 検査結果

必須項目	選択項目
妊 A (8-12w)	
頸部スミア ( ) 血液型 ( )型 Rh( ) 不規則抗体 ( + ) 血算 WBC Hb Plt 血糖 ( ) HbA1c ( ) RPR, TPHA ( - + ) HBsAg ( - + ) HCV ( + ) HIV ( + ) HTLV-1 ( + ) 風疹抗体価 ( )倍	トキソプラズマ抗体 ( - + )
妊 B (14-16w)	
クラミジア検査 ( - , + )	膣分泌物培養 ( )
妊 C (25-27w)	
50gGCT 又は 100gGCT ( )	甲状腺機能 ( )
妊 D (30-32w)	
血算 WBC Hb Plt	血清心電図 ( )
妊 E (36w)	
GBS ( - + )	
血算 WBC Hb Plt	
凝固機能 (正常 異常)	

検査項目や時期  
の合意決定

\* 施行済み検査にチェックをお願いします。

\* 異常値のあるものには赤字でチェックをお願いします。

\* 超音波スクリーニング チェック欄 (全て必須項目)

妊娠中期	<input type="checkbox"/> 胎盤位置 (正常、低置、前置)
	<input type="checkbox"/> 子宮頸管長
妊娠後半期	<input type="checkbox"/> 心四腔断面 <input type="checkbox"/> 胃泡 <input type="checkbox"/> 膀胱 <input type="checkbox"/> 腎
妊娠 36 週以降	<input type="checkbox"/> 胎児推定体重 <input type="checkbox"/> 羊水ポケット

# 母子手帳に超音波所見、検査・処方、特記事項を追加

特記事項																	
健診 月日	妊娠 週数	子宮底 長	腹囲	血圧	浮腫	尿 蛋白	尿糖	体重	胎位 児心拍	児頭 大横径	大腿骨 長	推定児 体重	羊水 ポケット	頸管長	備考	検査 処方	診察医
母子健康手帳内容									超音波所見					備考 検査 処方			



# 妊産婦への周知

日本医科大学多摩永山病院

## 母と子のネットワーク

—より安心・より快適なお産を目指して—

近年の少子化に伴い東京都の出生数は年々減少していますが、多摩地区では年間出生数約3万3千(東京都の1/3)が維持され、出生率も東京都平均を上回っています。一方、多摩地区の分娩取り扱い施設は減少の一途をたどり、産婦人科医師数は東京都区部の半数に満たない状況です。こうした中、患者様により安心・快適な周産期医療をご提供するためには、これまで以上に地域診療の連携体制の強化が必要です。

そこで、日本医科大学多摩永山病院では連携施設との協力の下、各施設の特性を生かした周産期医療連携システム“母と子のネットワーク”を構築いたしました。多摩永山病院では今後より多くのハイリスク妊娠、分娩や救急患者様への対応を充実するため、当院での分娩を予定されている患者様であっても、リスクの低い場合、原則としてお住まいのお近くの“母と子のネットワーク連携施設”のクリニックや病院で健診を受けていただくことをおすすめしています。その場合も、緊急時や分娩時には多摩永山病院で対応させていただきますことが可能です。連携施設の中には優れた施設が数多くあり、患者様のご希望に添った医療が提供できるシステムになっております。

“母と子のネットワーク”をご利用になる場合の手順は以下の通りです。

- 1) 日本医科大学多摩永山病院女性診療科・産科を受診した際に“母と子のネットワーク”ご利用の患者様としてのご登録をお願いします。  
自治体から交付される母子手帳とは別に、病院から“母と子のネットワーク健診手帳”をお渡し致します。(この健診手帳が連携施設と多摩永山病院をつなぐ大切なカルテとなります。)
- 2) “母と子のネットワーク連携施設”を受診されるときも、
  - ①母子手帳と健診手帳の2冊を必ずご携帯・ご提示下さい。
  - ②また、連携施設へお越しの際は、母子手帳と健診手帳の2冊を必ずご提示下さい。
- 3) 母と子のネットワーク連携施設へお越しの際は、速やかにお電話にてご連絡ください。(受付時間外の場合は、緊急時を除き、24時間受付です。)

パンフレット・ホームページ  
各連携施設の特徴、診療時間、  
アクセスなどの情報を提供

<http://www.nms.ac.jp/nanahet/>

日本医科大学多摩永山病院女性診療科・産科医局-TOP

2007/11/30 08:15 AM

since 2007.03



多摩地区の産科・婦人科医療に貢献する日本医科大学多摩永山病院女性診療科医局のホームページ

日本医科大学多摩永山病院 女性診療科・産科 医局

TOPページ

母と子のネットワーク

- ご案内
- 連携施設

医局の紹介

- 産科とスタッフ
- 外来担当表
- 診療実績

病棟と  
出産サポート

- 助産師外来
- 母乳学級
- 母乳学級
- パパママクラス
- 各育児指導
- スタッフ
- 入院に際して 等

情報コーナー

●妊娠と出産について

「国産リスクサインと妊婦サポートマニュアル」より

リンク集



多摩周産期医療連携システム

日本医科大学多摩永山病院

母と子のネットワーク

更新日  
2007.10.22

多摩永山病院での分娩を予定されている患者様も、必要に応じてお住まいのお近くのクリニックや病院で健診を受けていただき、緊急時や分娩時には多摩永山病院で対応させていただきますことが可能です。→詳しくはこちら



医局の紹介・診療実績

更新日  
2007.03.15

女性診療科・産科の医局員、外来の担当(病院ホームページへリンク)、業績などをご紹介します。



病棟と出産サポート体制

更新日  
2007.08.10

当科の病棟や外来でのサポート体制、両親学級、出産のケアなどについてご紹介します。



情報コーナー

更新日  
2007.03.15

中井章人教授の著書「EBMに基づく周産期リスクサインと妊産婦サポートマニュアル」の情報を、妊娠や出産、新生児などについて、詳しく解説しています。



母と子のネットワークの連携施設が増えました。10/22

母と子のネットワークの情報を更新。連携施設の地図を掲載し、各施設のホームページにリンクをはりました。8/10

ホームページを開設しました。

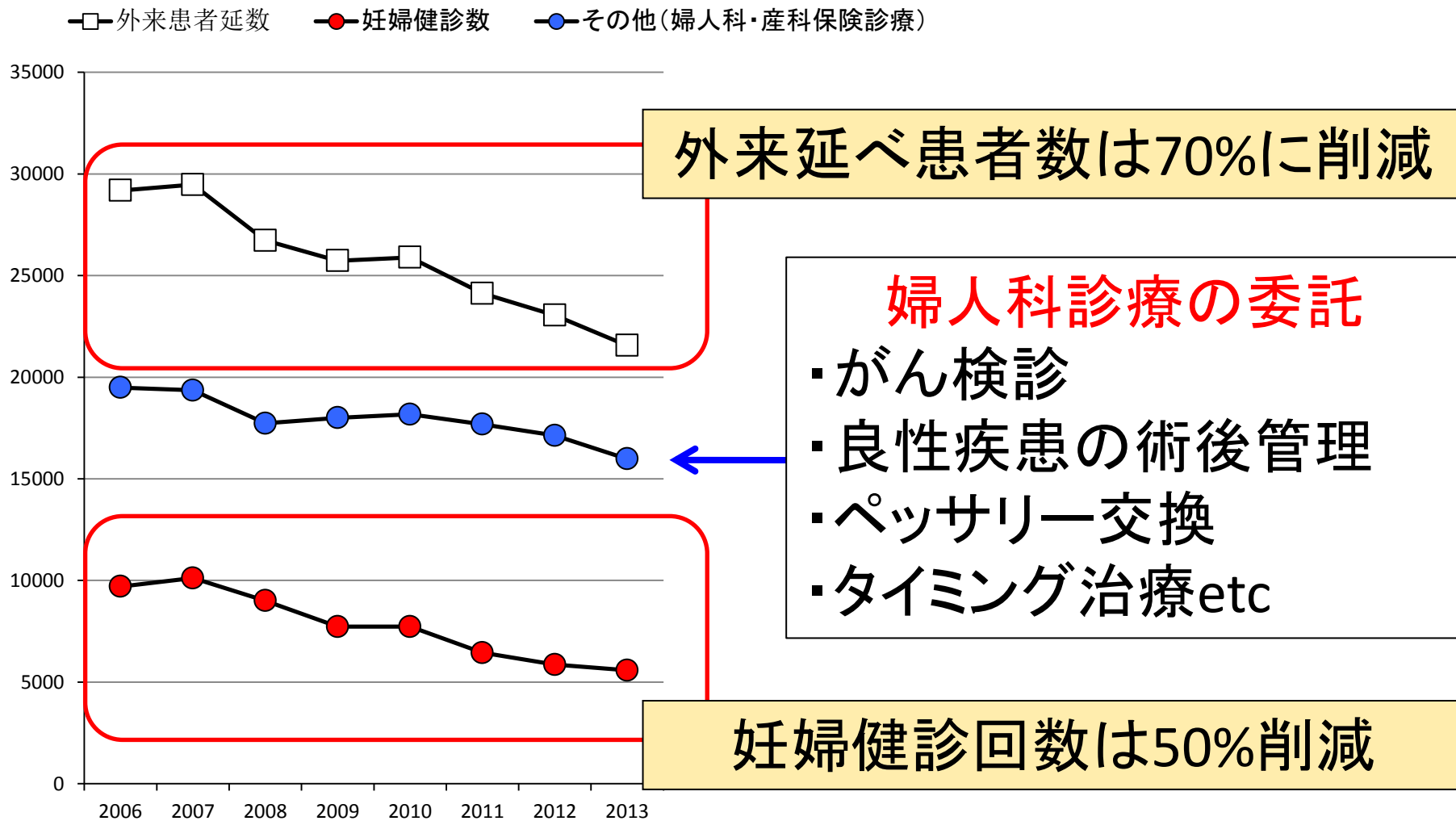
■更新情報

- 母と子のネットワークページ情報情報追加
- 母と子のネットワークページ情報大幅更新
- 病棟と出産サポートのページ情報更新
- ホームページ開設

●更新履歴

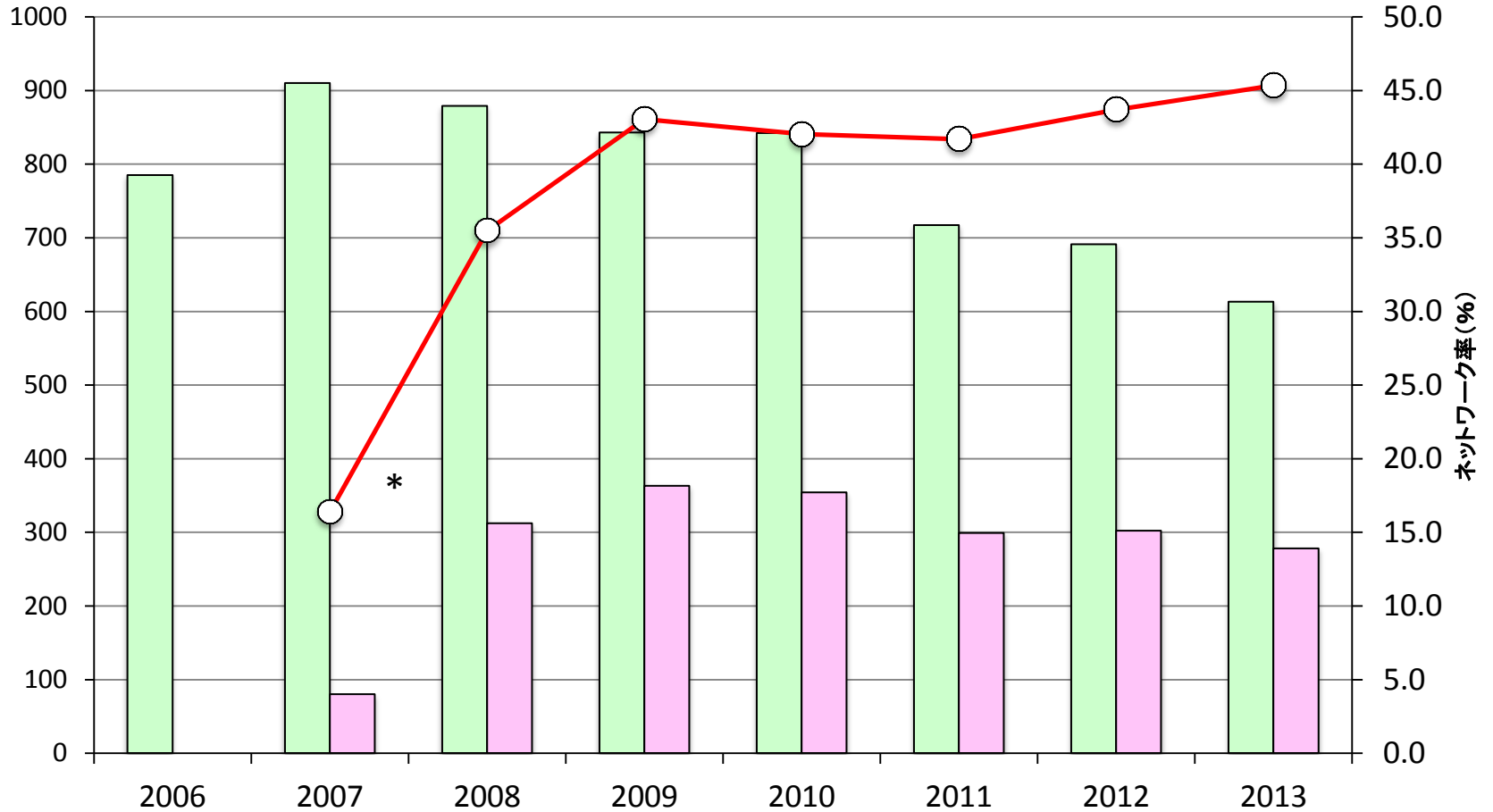
71-2111 (代表)

# 外来患者数の年次推移



# 分娩数とネットワーク患者数の推移

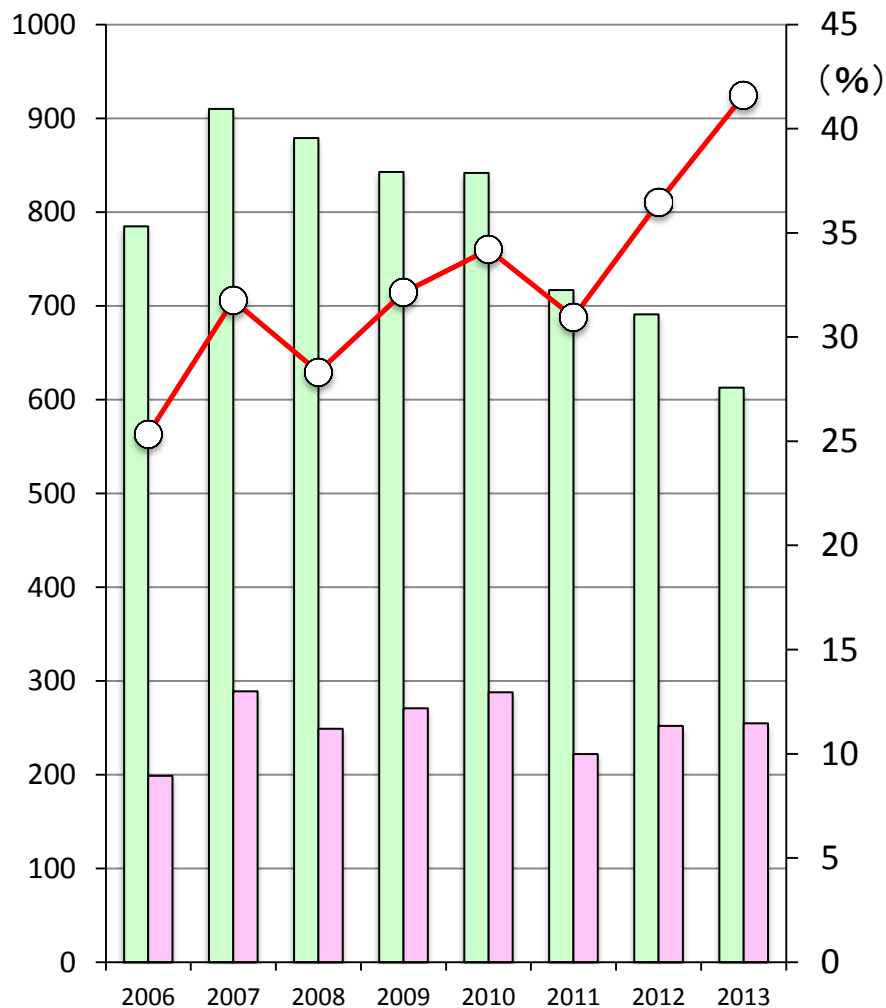
分挽数 ネットワーク患者 ネットワーク率



\* 2007年6月母と子のネットワーク運用開始開始後の実績

## 分娩数と帝王切開数の推移

■ 分娩数   ■ 帝王切開数   ●-○ 帝王切開率



ローリスクが連携施設に移動し  
ハイリスクが集約化

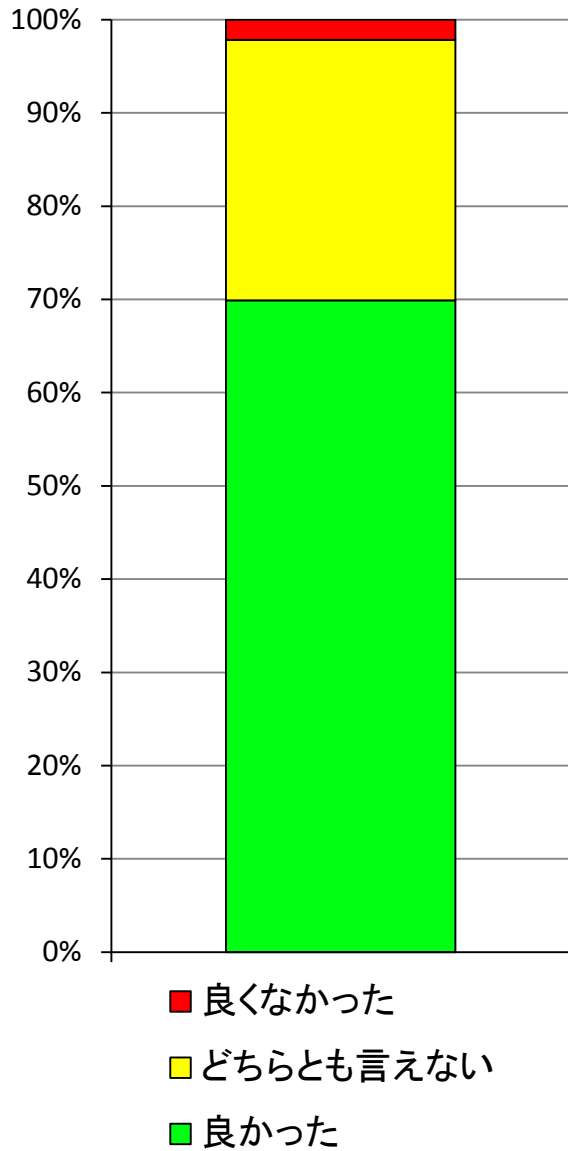
## 入院患者数と婦人科手術数

■ 入院患者数   ●-○ 婦人科手術件数



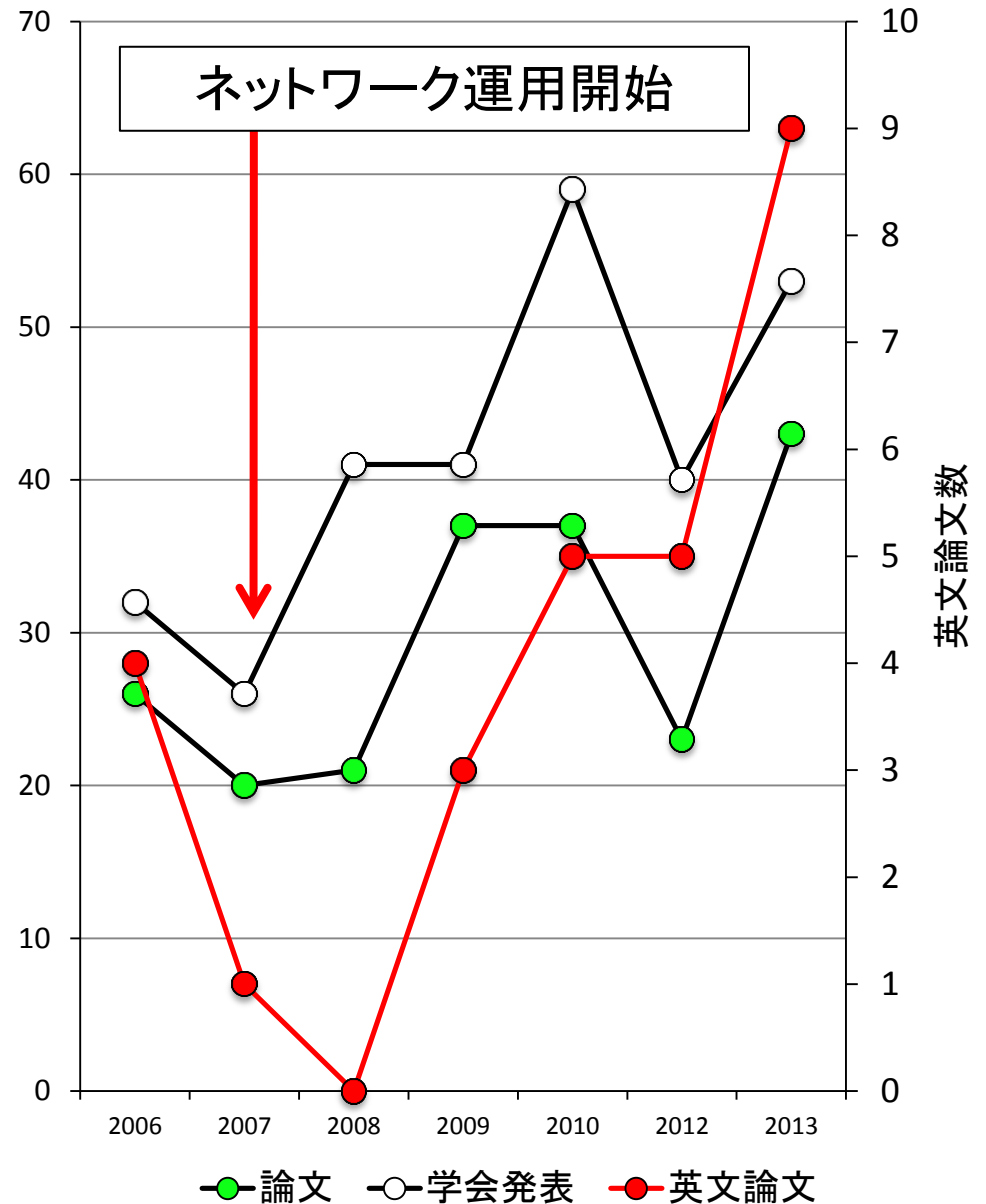
悪性疾患など婦人科手術が  
増加し、患者数は保たれている

# ネットワーク利用者アンケート調査 (Qこのシステムは良かったか?)



平成22年度厚生労働省科学研究(分担:中井章人)

## 研究業績





## 大学の医師のつらいことトップ5

- ❌ 夕方まで終わらない外来
- ❌ 当直帯のお産と救急患者の受け入れ
- ❌ 教授に押し付けられる学会発表と論文作成
- ❌ 安い給料と豊富な仕事
- 5. 結婚相手がいない



妊産婦  
連携施設  
医局員たち

*Win! Win! Win! (win!)*

## 結語

産婦人科医師不足と地域格差は過去最大となっています。地域によっては極めて過酷な勤務が強いられています。

就労環境・待遇の改善、女性医師支援は早急に対応しなければならない問題です。多くの皆様にご理解をいただき、産婦人科医療の安定供給の確保にご協力賜れればと思います。

ご清聴有難うございました。